

映像	内容
<p>タイトル VTR</p>	<p>オープニングタイトル</p>
<p>スタジオ</p> <p>2S</p> <p>T 麒麟 田村裕</p> <p>T 藤井未莉佳</p>	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>藤井： 藤井未莉佳です。 さて、田村さん、先日行われた「成人祭」にサプライズゲストとして登場されたんですよね？</p> <p>田村： そうなんですよ。 新成人にエールを送るために行ってきました。VTRどうぞ！</p> <p>(VTR)</p> <p>田村： 今年度、吹田で新成人となったのは3967人。 会場にはたくさんの新成人が集まって賑わっていました。</p> <p>これはミニ同窓会コーナー、記念写真コーナーなどがありまして、みなさん、再会を楽しんでいました。</p> <p>(インタビュー)</p> <p>成人しました～。お母さん、お父さんありがとう今まで。 これからも頑張っていきま～す。</p> <p>感謝の気持ちを忘れずに、生きていこうかなと思います。</p> <p>夢の第一歩として、飲食店に就職するために頑張ろうと思ってます。</p> <p>老人ホームで働いているので、仕事いっぱい覚えて、祖父の介護につけたらいいなって思ってます。</p> <p>田村： そして、オープニングムービーでは新成人の恩師から、お祝いメッセージが届いていました。こういうのも嬉しいですね。</p> <p>そして、新成人代表が挨拶。すごいですよね。</p>

田村：

さあ、出ました！ここで私がステージに呼ばれまして、人生の先輩として新成人にエールを届けました。

(田村さんコメント)

嫌なことがあっても、ポジティブ脳であれば、良い方向に人生が向くように自分で進めるようになると思いますので常にポジティブ脳をキープする技術を身に付けていただいてニコニコと楽しく人生を生きてほしいと思います。

田村：

そして、式典終わりには実行委員会のみなさんとお話しをする時間もありまして、それぞれ夢というか、これからどうして行くのか、その辺りの話を後藤市長を交えてお話しさせてもらいました。

(スタジオ)

藤井：

新成人の皆さん、貴重な機会でしたね。熱いメッセージを送っている感じが伝わりましたが、新成人の皆さんはどうでしたか？

田村：

吹田は上品な街だからか落ち着いてて、ちょっと派手な子もいましたけどそれでも行儀よく座ってる様が可愛らしく、喋ってる間もちゃんと話も聞いてくれるし、問いかけたら答えてくれるノリの良い子もいて、すごく楽しくできました。

藤井：

ポジティブ論というかね。

田村：

真面目な話もしたんですけど、誰も覚えてないんやろうな。

藤井：

大事ですよ。前向きにね、何事も。

田村：

1人でも覚えてくれてて、人生が少しでも上向きになってくれたら嬉しいなと思います。

藤井：

そうですね。新成人のみなさん、改めておめでとうございました。

VTR

ナレーション・藤井

それはこの発言から始まりました。

田村

地元の西山田中学校の裏の蛇の道っていうマニアックな所があるんですけど、そこに小さい池があるんですよ。

そこで一度だけカワセミを見た気がするんですよ！

藤井

エ～！！

ナレーション・藤井

田村さんが話した「吹田でカワセミを見た」というお話。

カワセミとは「空飛ぶ宝石」とも呼ばれる鳥で、山あいの清流などに生息しているイメージがあります。

本当に吹田の街なかにカワセミなどいるのでしょうか？

スタッフが調べてみると、確かに千里にある公園の池でカワセミの姿が目撃されているようなのです。

吹田野鳥の会・会長 平（ひら）軍二さん

吹田市にある池。

ニュータウンの中にある池だったら、常時おるというわけではないですけど、見られると思います。

ナレーション・藤井

そう語るのは吹田野鳥の会・会長、平軍二さん。

平さんは数年前まで日本野鳥の会で評議員も務めていた鳥のエキスパートなんです。

そこで、今回の特集は、もう一度空飛ぶ宝石を田村さんに見せたい！

題して「吹田カワセミプロジェクト」をお届けします。

「溪流の宝石を探せ！吹田カワセミプロジェクト」

ナレーション・藤井

クリスマスを目前に控えた12月23日。

阪急山田駅に双眼鏡を携えたたくさんの方が集まっていました。

実はこの日、吹田野鳥の会が主催した探鳥会が行われたのです。

吹田野鳥の会の会員数は現在140人。

今年で結成21年目を迎える団体です。

日頃はどのような活動をしているのでしょうか？

会長 平（ひら）軍二さん

万博公園の春の渡り鳥調査では、例えば、4月の15日から5月5日まで毎日朝7時半に入って、お昼まで回って調査する事をやったり、ツバメの調査とかそういう事をやっています。

ナレーション・藤井

いよいよ、山田地区の探鳥会スタート！
やってきたのは山田上王子池公園。
今日の探鳥会は常連の野鳥マニアから、初めて参加した人まで様々。
皆さん熱心に双眼鏡をのぞいていました。

会長 平（ひら）軍二さん

池の鴨が今一番多い時期なんです。

ナレーション・藤井

実はこちらの公園でもよくカワセミが観察されているそうなんです。

スタッフ

カワセミはどんな所にいるんですか？

会長 平（ひら）軍二さん

カワセミは池の出てる木の所、あるいはこの池だったら柵のところにおいて、そして池の中にいる小魚を飛び込んで捕まえる。そういう習性ですね。

ナレーション・藤井

しかし、様々な鳥は確認したものの、こちらの公園でカワセミの姿は見られませんでした。

ところで野鳥たちにとって吹田とはどんな所なんですか？

会長 平（ひら）軍二さん

大阪は日本全体でいえば面積も小さいし、街が多いから鳥が少ないんじゃないかと思われてるんですけども、630種ぐらいの鳥が日本の鳥ですよと記録されているわけです。それに対して大阪では半分強、350～360種の鳥が確認されてるんです。

ナレーション・藤井

大阪は温暖な気候、そして豊かな海があり大きな川もあるため、野鳥にとっては非常に過ごしやすい環境なんだそうです。
しかし、この日は前日の大雨の影響なのか、本命のカワセミは全く姿を現しません。

会長 平（ひら）軍二さん

一つの池にじっとしているんじゃないで、いくつかの池を移動してるから、いないという事じゃないんですけども、今いるかと言われた時にちょっと・・・。

ナレーション・藤井

今回の探鳥会も終盤、山田西公園に。
もうカワセミを諦めかけたその時！

参加者

カワセミがいるらしいです！

参加者

あそこに茂みがあるでしょ。その中。

ナレーション・藤井

恐る恐る池に近づき、カメラを向けると・・・。
そこには瑠璃色に輝くカワセミの姿が！

参加者

全然動かないね！隠れてるつもりなの？

参加者

可愛いね！

参加者

ポーズとってる！飛びそうやね！

ナレーション・藤井

田村さんの言う通り、吹田市には確かにカワセミが生息していました。
そして数日後・・・。

田村

ほらね、カワセミいたでしょ！
幻じゃなかったんですよ、僕が子供の時に見たカワセミは！
めっちゃ嬉しい事実です、これは本当に！
で、やっぱりこれは肉眼で見たいという事で、
吹田の街に来たんですけども。

スタッフ

もう、先生も来てはりますんで。
もう完全にスタンバってますんで、そっちに行きましょうか。

田村

なんとか見たい！
これロケ運という芸能人パワーが試される。神様お願いします！

さあ、これはもうこの界隈のみんな知っている高町池という子供の
遊び場ですけども、僕らの時はここで延々ザリガニ釣り。スルメ使って。
あ、どうもどうも！宜しくお願いします。

会長 平（ひら）軍二さん

平と申します。

田村：

平さん！よろしくお願いします。田村と申します。

ナレーション・藤井

挨拶もほどほどに、早速、先日カワセミが姿を現した場所で
スタンバイしました。

田村

あれカワセミ違います？走ってるの。青いですよ！

会長 平（ひら）軍二さん

あはははは！カワセミの雄です！

田村

はははは、あれは人の雄です。

ナレーション・藤井

ここからはじっくり待つ事に。

田村

カワセミは何匹おるかってわかるんですか？

会長 平（ひら）軍二さん

分からないですね。分からないけども、だいたいこれだけの場所だったら
1羽か2羽。鳥は餌場を持ってますから、縄張り、テリトリー。
だからその間に何羽かいて循環してるという。

ナレーション・藤井

この日、カワセミこそ姿を現していませんが、池には鴨が沢山訪れていました。

会長 平（ひら）軍二さん

今ああいう風に、おじさんが餌をまいてますね。
だから必死にあそこに集まっていますので、こっちまで来ません！

田村

ははは。ほんまに鳥好きですね！

会長 平（ひら）軍二さん

それはやっぱりね、鳥に育てられた。
私が病気をしましてね。病気から立ち直れなかったのよ。
すぐなんかあったら血圧が上がるといような形でね
立ち直れなかったんです。
最初は、仏像を見に行ったりしてたんですけど、精神保養じゃなくて、
ただ歩いて鳥を見ればいいということがわかった。
それから鳥を見始めて。そういうことで鳥は命の恩人！

田村

へ～すごいな、その話は。

ナレーション・藤井

ここで、カワセミを待って1時間が経過。

田村

さっきからカワセミ以外のスズメもいっぱいおるし、鴨もおるし、鳩もおるし、
カラスもおるし、アオサギもおるし、セグロセキレイもおるし、
鳥がめちゃくちゃいっぱいおるけど、全部カワセミ以外！！
現れへんなー。カワセミちゃ～ん！

会長 平（ひら）軍二さん

どうや！無理か？いないか？

田村

もうアオサギしかおらんやん！
青い鳥とは言ったけど、名前に青じゃなくてさ！

スタッフ

陰ってきましたね。

田村

ちょっとやばいですね。言うてる間に陽が落ちてきますよね。
陽が落ちたら活動しないんですよね？

ナレーション・藤井

諦めかけていた、その時！

田村

えっ？カワセミって言ったよ！えっ？

会長 平（ひら）軍二さん

カワセミきたよ！

田村

えっ？うそうそ！

会長 平（ひら）軍二さん

見て！

田村

うわ！うお！まじや！綺麗！宝石やん！
ようピンポイントで見つけて合わせてくれましたね！
完璧や！すげ～！なんかね、カワセミが一匹止まっているだけで
一気に芸術的なね、瞬間を切り抜いた芸術になります。
アートになります。これは感動的！すげ～！

ナレーション・藤井

田村さん、およそ30年ぶりに吹田のカワセミと再会を果たしました。

田村

現実じゃないみたい。夢の中、幻を見ているような。

会長 平（ひら）軍二さん

何十年前ですか？

田村

ほんまに小学校低学年とかと思うんで。もしかしたら幼稚園とか
やったかもしれないです。おそらく30年とか32年前とか。
平さんのおかげで感動しました。どうもありがとうございました。
これからも吹田の鳥を守ってください！

映像	内容
スタジオ	<p>田村： と、いうわけで、持ってましたねー！</p> <p>藤井 芸能人運？</p> <p>田村： 芸能人運、ロケ運があって良かったー！</p> <p>藤井： おかげで私も見る事ができて。背中ブルーが綺麗でしたね。</p> <p>田村： 本当に現実じゃないくらいの美しさ。すごいですね、あれは。</p> <p>藤井： 身近なところにいるものなんですね。</p> <p>田村： でも、小さいですから、本当にすいたんのぬいぐるみくらいのサイズかそれよりもう少し小さいくらいなんで、普通に生活してたら気付かないですね。見たいと思って見とかないと。 だから価値があるので、見れた時の喜びはすごく大きかったですけど。 実は逸話といたしますか、すごい話がありまして、 吹田のカワセミの話なんですけど、500系新幹線がカワセミの形を参考にして、この角度は分かりにくいんですけど先が結構尖ってるんですよ。 この尖ってる形がカワセミのくちばしの形を模してるんですよ。 なんでかって言うと、カワセミは魚に気付かれにくく水に突入して魚を捕まえるんですけど、その形が衝撃が少ない形だと、水に入るのに。</p> <p>藤井： 空気抵抗というか・・・。</p> <p>田村： この開発デザインの人が鳥が好きで、万博の探鳥会に参加してたんです。</p> <p>藤井： 吹田の？</p>

田村：

吹田の。だから、平さんと一緒に探してたんですよ。
それで、カワセミを見たりしてる中でこの形が空気抵抗が少なく
良い形なんじゃないかと気がつき、500系の開発に進んでいくんです。
吹田のカワセミが元で500系の新幹線が出来上がってるんですよ。

藤井：

すごいですね！

田村：

すごい話なんです！

藤井：

声を大にして言いたいですね。

田村：

大にして言いたいよ！言ったけどね。
あの時は高町池がある山田西公園で発見することができましたけど、
いろんな池を廻るんですって。周回するんですって。
だから、どの池でも可能性はあるので、ちょっと探してみるだけでも、
吹田の街に暮らしている楽しみが増えるじゃないですか。

藤井：

宝探しみたいな気持ちで。

田村：

簡単には見つけれられないかもしれないけど、ぜひとも探していただいて。

藤井：

以上、特集は「吹田カワセミプロジェクト」でした。

VTR_ワンポイント手話（1分）

映像	内容
	<p>藤井： 続いては「吹田の自由研究」 今回は市内にある「飛び地」の謎に迫ります。</p> <p>田村： 飛び地？「飛び地」って何ですか？</p> <p>藤井： 例えば、吹田市内の飛び地、こちらをご覧ください。 地図なんですけど、この中に、これが「飛び地」なんですよ。</p> <p>田村： あれ？茨木市や！</p> <p>藤井： そうなんです。 他の市町村の中に飛び飛びで存在する市町村の土地のことを「飛び地」というんですけども。</p> <p>田村： そんなんあるんや！へえ！</p> <p>藤井： 吹田市にも、この飛び地があるんです。 これが吹田ジャンクションのあたりなんですけど、 ここに一体なにがあるのか、人が住んでるのかとか気になりませんか？</p> <p>田村： 気になりますね。なんやろ、これ。</p> <p>藤井： 不思議な感じがしますよね。 ということで、番組スタッフが現地に向かって、どんな所か調べてきました。</p>

映像	内容
VTR	<p>ナレーション藤井： まず向かったのは、千里丘上にある小さい方の飛び地。 そこには一体何があるのでしょうか。</p> <p>スタッフ： 最初の飛び地が、児童会館の隣ということで、ここが児童会館ですね。 この児童会館の隣の飛び地ですね。 児童会館がそこですから、飛び地はここなんですけど、これ、お墓ですね。 ここに書いてあるんですけど「茨木市蔵垣内共同墓地委員会」 茨木市の蔵垣内という地域のお墓みたいですね。</p> <p>ナレーション（藤井） 実はこの飛び地、古来から旧蔵垣内村の住民が先祖代々共同墓地として 管理してきており、これまでの経過から今でも茨木市の土地と なっていると考えられているんです。</p> <p>続いて、スタッフはもう一つの飛び地、吹田ジャンクションへ。</p> <p>スタッフ： 吹田東高校の道路を挟んだ向かい側なんで、この方向なんですけど、 ちょっと入ってみましょうか。</p> <p>ナレーション（藤井） 飛び地にあったのはNEXCO 西日本の高速道路事務所。 特別に許可を得て、敷地内を撮影させていただきました。すると？</p> <p>スタッフ 名刺頂いたんですけど、住所が茨木市になってますね。 「小坪井」という地名ですね。 吹田ジャンクションができたのも、ここ40年くらいの話やと思いますんで、 その前って何があったんでしょうね。あ！もしかして、これちゃいますか？</p> <p>ナレーション（藤井） ここで、クエスチョン！ 吹田ジャンクションにある茨木市の飛び地にあったもの。 さて、それは何でしょう？</p>

藤井：

クイズです！

飛び地の原因となったものがあるんですけど、何だと思えますか？

田村：

ジャンクションは関係ある？

藤井：

ジャンクションは関係ないですね。

田村：

あれじゃないですか、「茨木」っていう種類の木が生えてて、
「ここは茨木市にあげようよ」って。

藤井：

親切心で？

なんかよく木を避けて道が出来たりしてる、そういうニュアンス？
そういう物語も素敵ですけど、ちょっと違いますね。

田村：

違う？なんやろ？

藤井：

自然っていう意味では、そうですね。

田村：

自然のもの？え？茨木感ある？

藤井：

茨木感は別にないですね。

田村：

神社とか、そういうものがあつたみたいな・・・。

藤井：

全然惜しくないです。

田村：

腹立つ！

藤井：

答えにいちやいましょうか？

田村：

池とか、そういうのがあったってこと？池とか川。

藤井：

今言った中に答えがありました。

田村：

え！じゃあいこう！

藤井：

それでは、VTRをご覧ください。

スタッフ

あ、もしかして、これちゃいますか？

ため池がありますね。

この「ため池」って40年以上前からあったんですかね？

ナレーション（藤井）

飛び地の過去に注目したスタッフは、昔の地図を探しに図書館へ。

そこに飛び地の謎を解くヒントがありました。

スタッフ

昔の地図で飛び地の所「八丁池」って書いてますね。

ほんで、池の形と飛び地の形がほぼ一致してますよ。

ということは、この飛び地はもともと池やったんですね。

名神高速が走ったり、吹田インターができたりして

だんだん池のサイズが小さくなっていったってことですね。

藤井：

正解は「池」でした。

田村：

どういうことですか？

藤井：

飛び地にあった残ってた八丁池なんですけど、元々は吹田の山田村の池だったんです。ですが、茨木の三宅村の人たちが、水不足解消のために村の神社にあった神輿と八丁池を交換したんですって。

だから、その池の形が丸々飛び地になったと。

田村：

なるほど！面白い！なに、その交換！

藤井：

すごい歴史ですよ。

田村：

池と神輿。

藤井：

それだけ池って大切なものだったんですね。

田村：

そりゃもちろん、水不足で命に関わりますもんね。

藤井：

やっぱり農業が暮らしの中心だったので、水不足って重要な問題で時の流れとともに池は少しずつ小さくなったんですけど、池があった一帯、池の形そのまま飛び地になったと。

田村：

だから吹田は水には恵まれてる土地やったんでしょうね。

藤井：

いろいろ歴史のロマンが広がっていきますよね。

田村：

面白い話やなー。知らなかったわ。

藤井：

以上、吹田の自由研究、今回は「吹田にある飛び地の謎」でした。

田村：

どうも。田村裕のすい散歩の時間でございます。
今回は山田駅ということで、私の地元の駅ですので楽しみです。
行ってみましょう。

こんにちは。お名前は何かですか？

男の子

さとひろくん。

田村：

お兄ちゃんのこと知ってる？見たことある？

男の子：

うん。

田村：

どこで見た？

男の子

ヤマハで。

田村：

ヤマハ？ヤマハにいた？ほんま？久しぶり！

どうも、こんにちは。あらまた上品なお母さん。綺麗にして。

女性

歳聞いたらびっくりしはるわ。

田村：

おいくつですか？37くらいですか？

女性：

38よりいってます。

田村：

38やったら、俺と同じ年ですからね。

女性

38よりは上です。

田村

おいくつくらいですか？60？70？

女性

79。

田村：

えー！若っ！綺麗ですねー！

若さの秘訣は何ですか？

女性

常に体操してます。エアロビクス、ヨガ、筋トレ、ゴルフ。

田村：

エアロビで面白い人います？変わった人とか。

女性

変わってるのは私だけ。

	<p>田村： 続いては吹田の街で行われた出来事などをご紹介します 「吹田のトピックス」です。</p> <p>藤井： 今回は1月後半の話題をお送りします。</p>
像	内容

VTR

ナレーション・(藤井)

1月20日、一斉合同防災訓練が行われました。

南吹田公園では、骨折した人への応急処置や、AEDの使い方、心肺蘇生法といった救急救命の訓練などが行われました。

さんくす夢広場では、近隣の自治会が協力して炊き出し訓練が行われました。

普段はベンチですが、この日はかまどに変身。

炊き出しの豚汁などがふるまわれました。

市役所では災害対策本部が設置され、市内の被災状況や避難人数などを各地区の連絡責任者に確認したりと情報収集を行い、対策を検討し指示を出すなど、災害時の対応手順を確認していました。田村さん、ブラインド型訓練って聞いたことありますか？

今回行われた訓練が「ブラインド型」なのですが、簡単に言うと、参加者に訓練の詳細を事前に一切伝えない訓練の事です。なので、より実践的な訓練ができるということです。

訓練終了後、後藤市長は

「今回の訓練を、みなさんの意識高揚につなげたい」と話していました。

映像	内容
スタジオ	<p>田村： 経験があるかないかで、全然違いますもんね。</p> <p>藤井： いざという時にブラインド型訓練とかリアルな訓練をしているというのは安心できますね。</p> <p>田村： そうですね。「火災訓練」って言われて、準備をしてるんじゃないくて何の訓練かわからへんほうがリアリティがありますもんね。</p> <p>藤井： 災害っていつ来るかわからないですもんね。</p> <p>田村： 去年もいろいろありましたからね。出来るだけ準備して、少しでも被害を少なくなるようにしてほしいと思います。</p> <p>藤井： ここまで、「吹田のトピックス」のコーナーでした。</p> <p>田村： 番組もエンディングですが、なんと藤井さんから報告があるということで。</p> <p>藤井： 実は、去年の9月から番組のMCとして就任させていただきましたが、</p> <p>田村： やめるんですか？</p> <p>藤井： やめません！そんな嬉しそうに言わないでくださいよ。</p> <p>田村： 嬉しそうじゃないですよ。悲しそうに言いましたよ。</p> <p>藤井： （悲しそうに）言いました？ 今年3月の放送をもって、出産のため産休に入らせていただきます。</p>

田村：

え！急に？子供いたの？

藤井：

徐々に大きくなっているんですけど。

田村：

お腹大きいんですか？

ギリギリ見せてはくれないんですね。

藤井：

ちょっとずつちょっとずつ大きくなってきたんですよ。

田村：

あ、ほんまや！全然気付かへんかった。

もっと早く言ってくださいよ。

今、何か月なんですか？

藤井：

今、8か月。

田村：

で、9か月まで？

藤井：

そうですね。

田村：

ギリギリまでいきますやん。

藤井：

3月いっぱいまで続けますので。

田村：

本当におめでたいことですから。頑張ってください。

それではまた次回お会いしましょう。さようなら！

藤井：

さようなら